

4月10日 一斉下校でのお話

校長先生から、大事なお話をします。

自分の命は自分で守ります。命がなくなると何もできなくなってしまうからです。

今日の一斉下校は、皆さんの大切な命を守るための大事な学習です。

なぜこの時期に学習するのかというと、この班になってすぐである、ということと、この時期が一番、小学生の交通事故が多いと言われているからです。

1人1人が、どうやって登下校すればよいのかを考えて、それをこれからの帰り道に実行してほしいと思います。

例えば、この細い道では、なるべく端に寄って、横を走る車との間隔をあけられるようにしようとか、

この曲がり角は、木があって、見えにくいから、一回止まって車が来ないか確かめた方がいいとか、自分の命を確実に守るためのアイデアがあると思います。

お友達と横並びになって、おしゃべりしている場合ではありません。

1人1人が自分なりにやってみること、やり続けていくことが必要です。

最近知って、驚いたことがあります。

1年生から6年生では、学年が小さくなればなるほど、事故に遭う人数が増え、1年生は何と、6年生の37倍の人数になっているそうです。

このようなことから、大きい学年の人たちが小さい学年の人たちに声を掛けたり、正しい姿を見せたりして、事故に遭わないようにするために、登校班で登校しているのですね。

班長さんをはじめ、大きい学年の皆さん、小さい学年の人たちのことをよく見てあげたり、手本になってあげたりしてください。

小さい学年の皆さんは、班長さんをはじめ、大きい学年の人たちのいうことをよく聞いて、自分のペースで人よりかなり遅く歩いたり、立ち止まったりせず、とてもゆっくり歩いてくれている班長さんの後を周りをよく見ながらも、しっかりと付いていってくださいね。皆さん、登校の時は、班長さんに続いて、一列になって道の端を歩くのが正しいことです。

下校の時は、横に広がらず、近くを走る自転車や車の動きに注意しながら、歩くのが正しいことです。

このような大事で基本的なことをしっかりと頭において、今日だけでなくこれからの登下校も安全に行ってください。

自分の命は、自分で守る、です。

気を付けて帰ってください。